

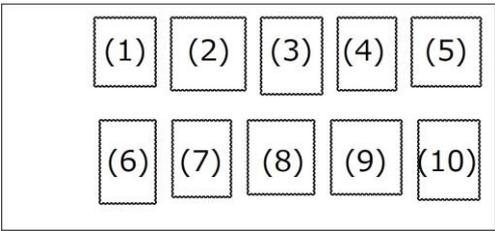
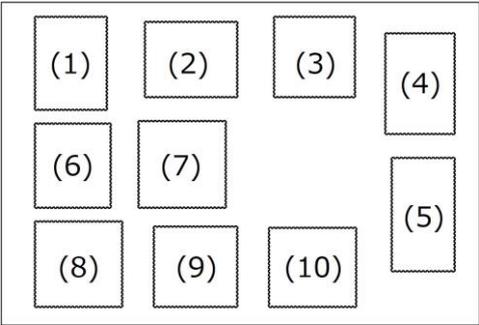
2023年5月31日
日本郵便株式会社

特殊切手「美術の世界シリーズ 第5集」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀）は、魅力ある名作絵画などの美術品を題材として特殊切手「美術の世界シリーズ 第5集」を発行します。

第5集は「白の世界」がテーマです。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	美術の世界シリーズ 第5集	
発 行 日	2023年8月2日（水）	
種 類	63円郵便切手（シール式）	84円郵便切手（シール式）
切 手 画 像	別紙のとおり	
シ ー ト 構 成 ・ 意 匠		
	<p>(1) 「鳩桜花図高浮彫花瓶」(部分) 初代宮川香山</p> <p>(2) 「桜図」(部分)長谷川久蔵</p> <p>(3) 「那智」奥村土牛</p> <p>(4) 「星」(部分)北野恒富</p> <p>(5) 「十二ヵ月花鳥図貼付屏風」(部分) 酒井抱一</p> <p>(6) 「睡れる幼きモデル」児島虎次郎</p> <p>(7) 「朝顔狗子図杉戸」(部分)円山応挙</p> <p>(8) 「レースの帽子の少女」(部分) ピエール・オーギュスト・ルノワール</p> <p>(9) 「雪のアルジャントウイユ」 クロード・モネ</p> <p>(10) 「シロクマ」(部分) フランソワ・ポンポン</p>	<p>(1) 「鳩桜花図高浮彫花瓶」(一対のうち 右側)初代宮川香山</p> <p>(2) 「桜図」(部分)長谷川久蔵</p> <p>(3) 「城」奥村土牛</p> <p>(4) 「星」北野恒富</p> <p>(5) 「十二ヵ月花鳥図貼付屏風」(部分) 酒井抱一</p> <p>(6) 「少女」南薫造</p> <p>(7) 「朝顔狗子図杉戸」(部分)円山応挙</p> <p>(8) 「ピアノを弾く妻イーダのいる室内」 ヴィルヘルム・ハンマースホイ</p> <p>(9) 「レースの帽子の少女」 ピエール・オーギュスト・ルノワール</p> <p>(10) 「シロクマ」 フランソワ・ポンポン</p>
所 蔵 元	<p>(1) 国立工芸館</p> <p>(2) 総本山智積院</p> <p>(3) 山種美術館</p> <p>(4) 大阪市立美術館</p>	<p>(1) 国立工芸館</p> <p>(2) 総本山智積院</p> <p>(3) 山種美術館</p> <p>(4) 大阪市立美術館</p>

	(5) 出光美術館 (6) 大原美術館 (7) 東京国立博物館 (8) ポーラ美術館 (9) 国立西洋美術館 (10) 群馬県立館林美術館	(5) 出光美術館 (6) 東京国立近代美術館 (7) 東京国立博物館 (8) 国立西洋美術館 (9) ポーラ美術館 (10) 群馬県立館林美術館
売 価	630 円 (シート単位で販売します。)	840 円 (シート単位で販売します。)
小 切 寸 法	(1) 縦 26.5 mm×横 23.5 mm (2) 縦 28.0 mm×横 28.5 mm (3) 縦 29.5 mm×横 23.5 mm (4) 縦 28.0 mm×横 22.5 mm (5) 縦 26.5 mm×横 26.5 mm (6) 縦 32.0 mm×横 21.5 mm (7) 縦 29.5 mm×横 22.5 mm (8) 縦 28.5 mm×横 25.5 mm (9) 縦 28.5 mm×横 27.0 mm (10) 縦 30.5 mm×横 23.5 mm	(1) 縦 37.0 mm×横 28.5 mm (2) 縦 30.0 mm×横 36.5 mm (3) 縦 32.0 mm×横 32.0 mm (4) 縦 40.0 mm×横 27.5 mm (5) 縦 45.0 mm×横 25.0 mm (6) 縦 33.5 mm×横 30.0 mm (7) 縦 34.5 mm×横 34.5 mm (8) 縦 34.0 mm×横 34.5 mm (9) 縦 32.0 mm×横 33.0 mm (10) 縦 31.5 mm×横 34.5 mm
印 面 寸 法	(1) 縦 23.5 mm×横 20.5 mm (2) 縦 25.0 mm×横 25.5 mm (3) 縦 26.5 mm×横 20.5 mm (4) 縦 25.0 mm×横 19.5 mm (5) 縦 23.5 mm×横 23.5 mm (6) 縦 29.0 mm×横 18.5 mm (7) 縦 26.5 mm×横 19.5 mm (8) 縦 25.5 mm×横 22.5 mm (9) 縦 25.5 mm×横 24.0 mm (10) 縦 27.5 mm×横 20.5 mm	(1) 縦 34.0 mm×横 25.5 mm (2) 縦 27.0 mm×横 33.5 mm (3) 縦 29.0 mm×横 29.0 mm (4) 縦 37.0 mm×横 24.5 mm (5) 縦 42.0 mm×横 22.0 mm (6) 縦 30.5 mm×横 27.0 mm (7) 縦 31.5 mm×横 31.5 mm (8) 縦 31.0 mm×横 31.5 mm (9) 縦 29.0 mm×横 30.0 mm (10) 縦 28.5 mm×横 31.5 mm
シ ー ト 寸 法	縦 86.0 mm×横 187.0 mm	縦 127.0 mm×横 187.0 mm
助 言 ・ 監 修	高岸 輝 (東京大学大学院人文社会系研究科 教授)	
切 手 デ ザ イ ン	楠田 祐士 (切手デザイナー)	
版 式 刷 色	オフセット5色・ニス加工	
発 行 枚 数	800 万枚 (80 万シート)	2,000 万枚 (200 万シート)
販 売 場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の郵便局など <small>(注1)</small> ・ 「郵便局のネットショップ」 <small>(注2)</small> ・ 銀座郵便局での通常払込みによる通信販売 	

2 発行する郵便切手のデザインについて

美術の世界シリーズの第5集は、「白の世界」です。白は紙や絹、陶磁器の地肌など彩色を行うための基盤の役割を果たすとともに、水流、雪、花卉、動物の体毛、屋内外の光線など、自然が作り出す色彩としても用いられます。絵具としての白には、鉛の化合物である鉛白、貝殻を砕いたカルシウムを原料とする胡粉こふんなどがあり、それぞれ微妙に色調を異にします。豊かなバリエーションをもつ白が、赤・青・緑・黄・黄金といった明快な彩色と組み合わせることによって、作品は生き生きとした表情を見せることとなります。今回は、日本と西洋の絵画・彫刻・工芸の中から、白が印象的な作品を集めてお届けします。

〈63 円シート〉

- (1) 「鳩桜花図高浮彫花瓶」初代宮川香山 国立工芸館蔵 (Photo: National Crafts Museum / DNPartcom)
初代宮川香山 (1842~1916) は江戸幕末から大正時代にかけて活躍した陶芸家。京都の真葛焼まかつやきの窯元の子として生まれ、明治維新後に横浜へと移り、太田焼おおたやきと称して主に外国向けの陶磁器を制作しました。本作は明治前期の 1871~82 年頃に制作された花瓶で、鳩や桜花を精巧な高浮彫で表現しており、地の白色との微妙な色合いの違いによって、花鳥の立体感をひととき強調しています。
- (2) 「桜図」長谷川久蔵 総本山智積院蔵
長谷川久蔵 (1568~93) は桃山時代に活躍した絵師で、巨匠・長谷川等伯はせがわとうはくの子にあたります。父子で参加した智積院の障壁画制作では、久蔵が春の「桜図」を担当しました。金箔の地に巨樹を描くのは、この時代の大きな特徴ですが、久蔵の描く桜は太木でありながらも繊細な枝ぶりで、胡粉を盛り上げ立体的に表現した桜の花弁もまた、装飾的な優美さを示しています。
- (3) 「那智」奥村土牛 山種美術館蔵
奥村土牛 (1889~1990) は、昭和期を代表する日本画家。院展を舞台に活躍し、簡潔な構図とみずみずしい色彩の対比を得意としました。本作は和歌山県南部にある那智の滝を描いたもので、熊野三山のひとつ那智大社の御神体です。鎌倉時代の「那智瀧図」(根津美術館蔵)の構図を下敷きにしながら、黄葉に水流の白色を並置し、霊地のもつ厳肅さと風景画としての華やかさを両立させています。
- (4) 「星」北野恒富 大阪市立美術館蔵
北野恒富 (1880~1947) は金沢生まれの日本画家で、明治から昭和にかけて大阪を拠点に活躍しました。特に美人画に定評があり、都市に生きるモダンな女性の美しさを追求しています。本作は 1939 年に制作されたもので、夏の夜空の深い青を背景に、女性の肌の白さや浴衣の白さが幻想的に浮かび上がっています。
- (5) 「十二ヵ月花鳥図貼付屏風」酒井抱一 出光美術館蔵
酒井抱一 (1761~1828) は、姫路藩主酒井家の次男として江戸藩邸に生まれ、同時代の文化人たちと交わりながら画業を展開しました。特に、尾形光琳おがたこうりんに私淑し、その画業の顕彰を行うとともに、装飾的な画風を継承しています。大輪の紅白の牡丹ぼたんに、アゲハチョウやモンシロチョウを配したこの図は、四季の花鳥のうち、旧暦の四月に相当します。
- (6) 「睡れる幼きモデル」児島虎次郎 大原美術館蔵
児島虎次郎 (1881~1929) は岡山県出身の洋画家。東京美術学校卒業後にフランス、ベルギーに渡って画業の研鑽を積むとともに、郷土の実業家・大原孫三郎おおはらまごさぶろうの協力を得てヨーロッパの美術品を購入し、大原美術館コレクションの基礎を築きました。本作ではモデルとなった幼い少女のかわいらしい寝姿が、画面全体のなかに白く浮かび上がっています。
- (7) 「朝顔狗子図杉戸」円山応挙 東京国立博物館蔵 (Image: TNM Image Archives)
円山応挙 (1733~95) は丹波国(京都府)の出身で、京都に出て狩野派や中国画、西洋画の遠近法などを学び、写実的な画風で一世を風靡しました。本図は天明 4 年(1784)に尾張国(愛知県)の明眼院みょうげんいんのために描いた障壁画の一部で、杉戸に朝顔と子犬を配しています。杉の木目を背景に、子犬の真っ白な毛が浮かび上がり、あどけない表情やしぐさが強調されています。

- (8) 「レースの帽子の少女」 ピエール・オーギュスト・ルノワール
ポーラ美術館蔵（画像提供：ポーラ美術館 / DNPartcom）
ピエール・オーギュスト・ルノワール（1841～1919）はフランスで活躍した印象派の画家で、特に人物画を得意としました。筆触を活かした光の表情の把握に優れており、本作では淡い青や緑をバックに、少女の表情やレースの帽子が陽光のもとで輝いています。
- (9) 「雪のアルジャントゥイユ」 クロード・モネ 国立西洋美術館蔵（Photo: NMWA / DNPartcom）
クロード・モネ（1840～1926）は、フランスで活躍した印象派の画家。季節や天候によって刻々と変化する屋外の風景をしばしば描いています。本作はパリ郊外の町、アルジャントゥイユの駅の周辺を描いたもので、冬の弱々しい光に照らされた、屋根や樹木に積もる雪、路上の積雪の質感を繊細に描き分けています。
- (10) 「シロクマ」 フランソワ・ポンポン 群馬県立館林美術館蔵
フランソワ・ポンポン（1855～1933）は、19世紀から20世紀前半のフランスで活躍した彫刻家。特に動物の彫刻を得意とし、その形態を抽象化した作風に特徴があります。本作でも、シロクマの大きな体をシンプルな形で表現し、毛の色は大理石の白さをうまく活かしています。

〈84円シート〉

- (3) 「城」 奥村土牛 山種美術館蔵
奥村土牛が姫路城をモチーフとして1955年に描いた作品です。姫路城は白鷺城しらさぎじょうとも呼ばれ、漆喰の白壁に特徴がありますが、本作では大天守・小天守・櫓の連立する構造を大胆にトリミングし、青空を背景に浮かび上がらせています。見上げるような構図によって、天守群の壮大なボリューム感が強調されています。
- (6) 「少女」 南薫造 東京国立近代美術館蔵（Photo: MOMAT / DNPartcom）
南薫造（1883～1950）は明治から昭和にかけて活躍した洋画家。東京美術学校を経て渡欧し、イギリスやフランスに滞在しました。本作は、パリで描かれたもので、屋外のおだやかな光が全体を包み、静かな光と影の中に、少女の白い服がひととき映えています。
- (8) 「ピアノを弾く妻イーダのいる室内」 ヴィルヘルム・ハンマースホイ
国立西洋美術館（Photo: NMWA / DNPartcom）
ヴィルヘルム・ハンマースホイ（1864～1916）は、19世紀から20世紀初頭のデンマークで活躍した画家。特に室内の人物画を得意とし、北欧の静かな光線が窓から差し込む情景をしばしば描いています。本作でも、白い壁面やドアに反射した光の表情を克明に捉えています。

3 美術作品の所蔵元について

各美術作品の所蔵元の情報は次のとおりです（切手に関する照会は所蔵元ではなく、弊社お問い合わせ先までお願いします。）。

なお、作品は常に展示されているとは限りません。

所蔵元	住所	Web サイト
国立工芸館	〒920-0963 石川県金沢市出羽町 3-2	https://www.momat.go.jp/craft-museum/
総本山智積院	〒605-0951 京都府京都市東山区東瓦町 964 番地	https://chisan.or.jp/
山種美術館	〒150-0012 東京都渋谷区広尾 3-12-36	https://www.yamatane-museum.jp/
大阪市立美術館	〒543-0063 大阪府大阪市天王寺区茶臼山町 1-82 (天王寺公園内)	https://www.osaka-art-museum.jp/
出光美術館	〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 帝劇ビル 9 階	http://idemitsu-museum.or.jp/
大原美術館	〒710-8575 岡山県倉敷市中央 1-1-15	https://www.ohara.or.jp/
東京国立博物館	〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9	https://www.tnm.jp/
ポーラ美術館	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285	https://www.polamuseum.or.jp/
国立西洋美術館	〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-7	https://www.nmwa.go.jp/
群馬県立館林美術館	〒374-0076 群馬県館林市日向町 2003	https://gmat.pref.gunma.jp/
東京国立近代美術館	〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1	https://www.momat.go.jp/

4 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

(注 1) 一部の郵便局においては、お取り寄せとなる場合があります。

売り切れる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

(注 2) 「郵便局のネットショップ」への掲載は、2023 年 8 月 2 日（水）の予定です。

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-23-28-86（フリーダイヤル）

携帯電話から 0570-046-666（有料）

<受付時間 平日 8：00～21：00

土・日・休日 9：00～21：00>